

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2001-193409 (P2001-193409A)

【公開日】平成 13 年 7 月 17 日 (2001.7.17)

【出願番号】特願 2000-331596 (P2000-331596)

【国際特許分類】

F 0 1 D 9/04 (2006.01)

F 0 1 D 9/02 (2006.01)

F 0 1 D 11/00 (2006.01)

F 1 6 J 15/02 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 9/04

F 0 1 D 9/02 1 0 1

F 0 1 D 11/00

F 1 6 J 15/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 31 日 (2007.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流線を画定するガスの流れがその中を通る、円周方向に間隔を置いた複数のエーロフォイル部 (24, 32) を有するガスタービンエンジン (10) における、非直線の湾曲を画定する少なくとも 1 つの円周方向の端縁 (40, 52) を有する流れ通路 (B、C) の静止構成要素 (30, 36) であって、

前記流れ通路 (B、C) の非直線の湾曲が、前記流線の湾曲に一致する静止構成要素 (30, 36)。

【請求項 2】 前記構成要素 (30, 36) が、前記流線の湾曲に一致する湾曲を画定する第 2 の円周方向の端縁 (40, 52) を含む 請求項 1 記載の流れ通路の静止構成要素 (30, 36)。

【請求項 3】 前記構成要素 (30, 36) が、外壁 (26)、内壁 (28) 及び前記内及び外壁 (26, 28) の間に配置された少なくとも 1 つのノズルベーン (24) を含むノズルセグメント (30) であって、前記少なくとも 1 つの円周方向の端縁 (40, 52) が前記内及び外壁 (26, 28) のうちの 1 つに形成されている 請求項 1 記載の流れ通路の静止構成要素 (30, 36)。

【請求項 4】 前記構成要素 (30, 36) がシュラウド (36) である 請求項 1 記載の流れ通路の静止構成要素 (30, 36)。

【請求項 5】 前記構成要素 (30, 36) がノズルセグメント (30) である請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の流れ通路の静止構成要素 (30, 36)。

【請求項 6】

複数の静止構成要素 (30, 36) であって、

前記複数の静止構成要素 (30, 36) のそれぞれは請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の静止構成要素 (30, 36) であり、

前記ノズルセグメント (30) の隣接するノズルセグメント間に配置された可撓性シー

ル部材（４６）をさらに含む、複数の静止構成要素（３０，３６）。

【請求項７】 前記可撓性シール部材（４６）の各々が複数のセグメント（４８）を含み、前記セグメント（４８）の隣接するセグメントが、１つのセグメント（４８）が他のセグメントに対して回転することを可能にする締め具（５０）によって結合されている、請求項６記載の複数の静止構成要素（３０，３６）。

【請求項８】 請求項６記載の複数の静止構成要素（３０，３６）であって、
ガスタービンエンジン（１０）の複数の円周方向に配置された流れ通路の静止構成要素（３０，３６）における、隣接する２つの流れ通路静止構成要素（３０，３６）の間に配置され可撓性シール部材（４６）を含み、
複数のセグメント（４８）、および
前記セグメント（４８）を回転するように一体に結合する手段
を含む、複数の静止構成要素（３０，３６）。

【請求項９】 前記セグメント（４８）を回転するように結合する前記手段が、前記セグメント（４８）の隣接するセグメントを連結し、１つのセグメント（４８）が他のセグメントに対して回転することを可能にする締め具（５０）を含む、請求項８記載の複数の静止構成要素（３０，３６）。